

少子化、NPO法人、児童クラブ、農業経営所得安定対策

新風会 庄司勝義



質問 ↓ 少子化対策について市長方針。

答弁 ↓ 第四次総合計画で主要事業の一番に上げる。

質問 ↓ 久米地区の小学校校区で住宅、住宅供給地を施策としてもらいたい。

答弁 ↓ 第四次総合計画で検討する。

質問 ↓ NPO法人には各種ある。今後の問題はそれぞれの活用により活動可能。放課後児童クラブを小学校校区で設置。

答弁 ↓ 市の地域支援事業としていく。児童クラブは全小学校校区で設置したい。

質問 ↓ エンゼルプランの実績と課題。

答弁 ↓ 児童クラブ、保育サービス充実・子育て支援センター充実、児童虐待への対応、教育環境の整備など、子育て支援をより幅広く計画しており、その計画推進が課題だ。

質問 ↓ 農業経営所得安定対策(十七年七月) 答弁 ↓ 農業者、団体の主体的取り組みに関する情報を提供する。

縦割り行政と前例主義の打破

津山新星会議 米井知博



質問 ↓ 市民との協働を簡単にいうが、そのためには市職員の意識改革、縦割り行政と前例主義を打ち破ることが必要ではないか。公表されている十七年度末の市債務残高は一千三百四

十八億三千万円で、市民一人当たり百二十三万円だが、圏域消防組合など一部事務組合の市負担分三十三億円を加えると、一千三百八十一億三千万円になる。これ以外に市の債務はないのか。

答弁 ↓ 従来から弊害といわれている役所の縦割りや前例主義は打破しなければならぬが、行政の安定性の阻害につながることはない。民間の発想を取り入れるなど、悪しき体質を変えるため懸命に努力する。市の債務残高は指摘のとおりで他には無い。今後、わかり易くすべてを公表する。

老朽化校は全面建て替えを

政津クラブ 秋山幸則



質問 ↓ 小・中学校の耐震診断と老朽化した学校の建て替え時期はいつか。

答弁 ↓ 早期に耐震診断を実施し、耐震補強を行う。基本的には全面建て替え方式から、工費が安価な大規模改

造の改修方式に転換を図る考えだ。

質問 ↓ 平成五年の総務文教委員会林田東、北、西小の四校は老朽度が激しく、小規模改修はするが、順次全面建て替えをするかと答弁している。その後十三年が経過し、更に老朽は進んでいる。教育委員会は本会議や委員会の答弁に責任を持って、学校間格差や差別はあってはならない。

答弁 ↓ 林田小はすでに全面建て替えをしており、残る三校については、耐震診断を実施し結果をみて、全面建て替えを視野に入れながら、前向きに検討していきたい。

市長答弁のあり方がへんだよ アルネ再建築と県支援金は

日本共産党津山市議員 末永弘之



質問 ↓ 市長の答弁は、答弁漏れ、質問を歪曲する、質問した議員を批判するなど「間違い」が多い、質問したことに的確に答えるようにすべき。

答弁 ↓ 真面目に一生懸命答弁しているだ

け、改めるべきがあれば改めていく。

質問 ↓ アルネ再建築第三次案八十一億円の財源に県から二十億円が見込まれており、幅を広げて県支援金は当然貰えはよいが、再建築にも二十億円貰うべきであり道路・森林等へ幅を広げての支援金へ変更できるものではない。

答弁 ↓ 過ぎたことをあれこれ議論するのではなく、この問題でも「ケジメ」をつけたいとの考えである。

質問 ↓ 「ケジメ」とは、県からアルネ再建築として二十億円貰うこと、か、元々県支援金は「貰えないものを貰える」と嘘をついた」と言うべきだ。

◎ 有権者が威迫してあるいは議員を陥れる目的で寄付を求めると処罰されます。